

## サブロー寒天培地（混釈寒天培地） 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

### 1. 特徴

このサブロー寒天培地は検体中の好气的条件下で発育可能な中温性の真菌を迅速に発育させ定量的に測定することができます。チューブに試料を入れて転倒混和するだけなので、簡単にムラなく混釈できます。

### 2. 概要

サブロー寒天培地は主に医薬品・化粧品の微生物試験に用いられます。真菌の無菌検査や限度試験（総真菌数）の把握及び病原性、非病原性真菌の分離に使用する培地です。

### 3. 検査の手順

3-1 混釈寒天培地の入った容器をオートクレーブに入れ、溶解モードで90℃に設定し、20分加温します。

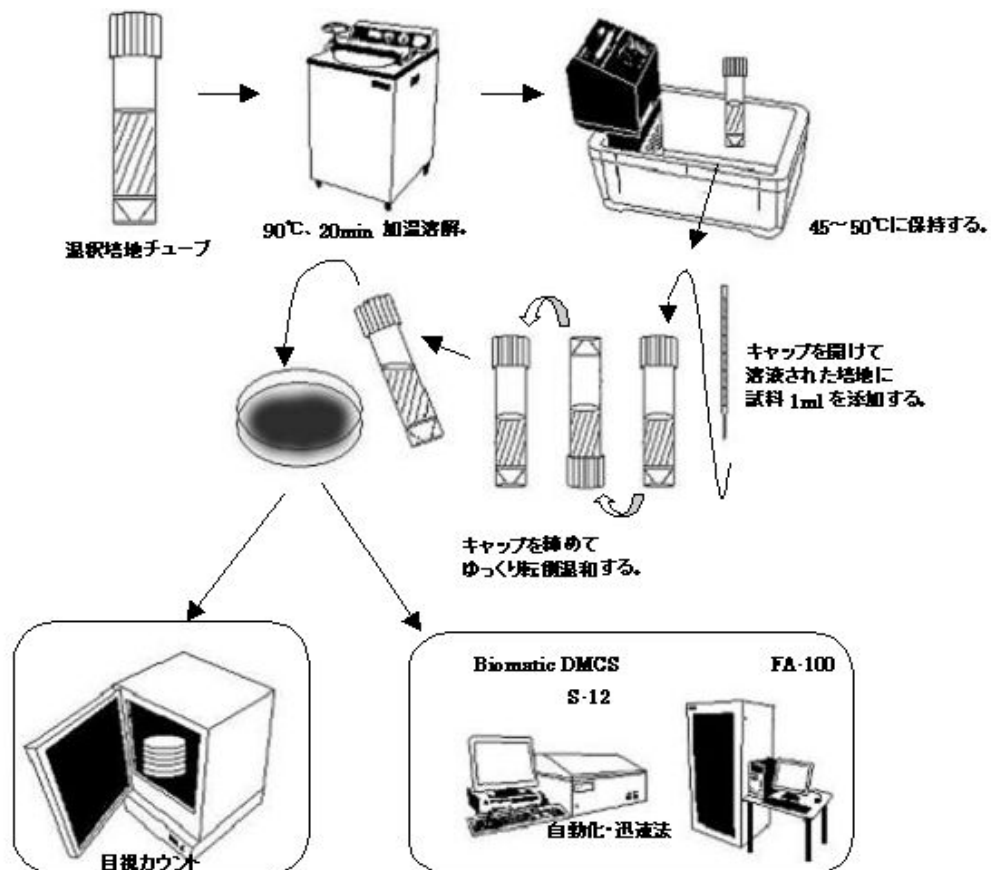
（オートクレーブに溶解モードがない場合は、湯煎等で90℃20分加温溶解します。）

3-2 加温終了後、45℃～50℃に保持した培地溶液に試料1mlを添加し、泡立たないように混和します。

3-3 シャーレに混和した培地溶液を静かに流し入れます。

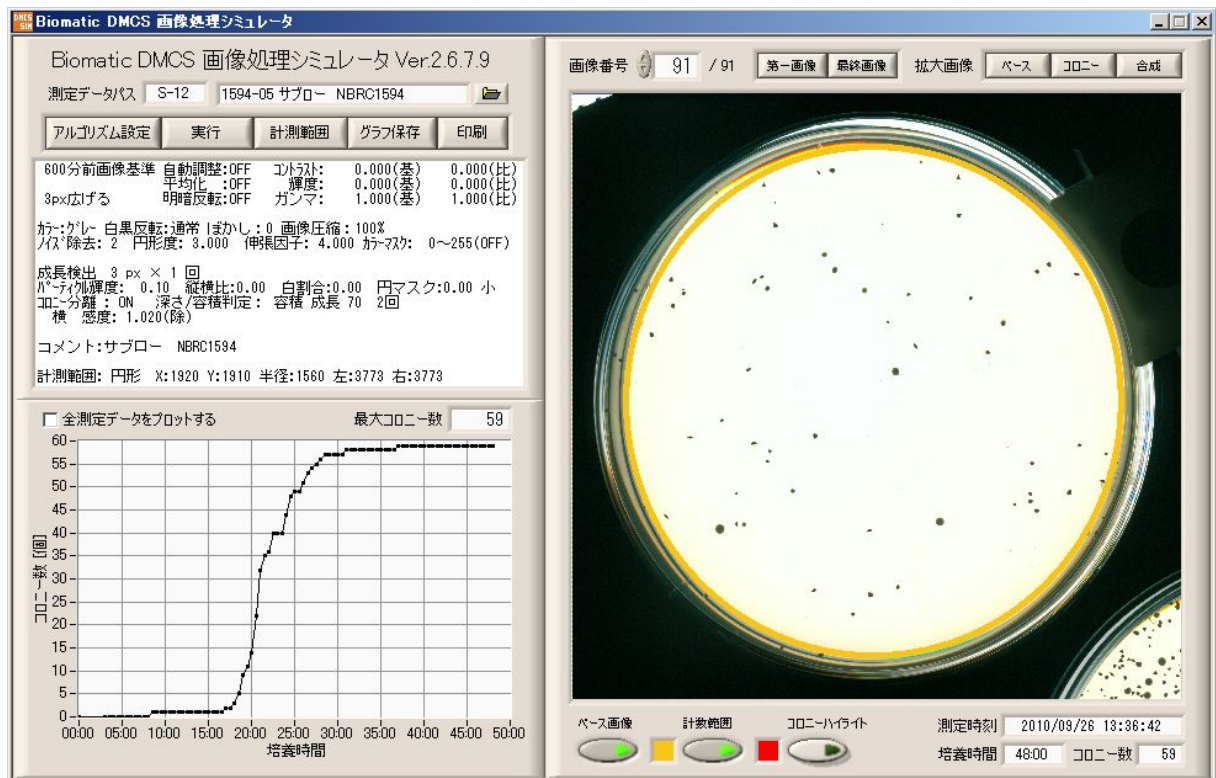
3-4 培地を冷却凝固させ、乾燥させた後、蓋を下にし20～25℃で5～7日間培養します。Biomatic DMCS（デジタル顕微鏡装置）にて測定する場合は、全自動で速く正確にコロニー数がカウントできます。

※3-2, 3-3はクリーンベンチ等の無菌操作をお勧めします。



#### 4. DMCS S-12 25°C培養での測定例

##### 4-1 ACM027 使用 混釈 *Candida albicans* (NBRC1594)の発育画像



##### 4-2 ACM027 使用 混釈 *Aspergillus niger* (NBRC9455)の発育画像

